

## 各論文カテゴリーの内容に関する査読指針

以下は原稿の評価ポイントとして、査読者用チェックシートに記載されます。

### ・論説・寄書

- (1) オリジナリティがあるか？ ( A-B-C )
- (2) 論文としての学術的価値が高いと考えられるか？ ( A-B-C )
- (3) 結論は論理的に導かれ、明確に述べられているか？ ( A-B-C )
- (4) 論旨が理解しやすいか？ ( A-B-C )

### ・総合報告

- (1) 広範な資料に基づく報告となっているか？ ( A-B-C )
- (2) 総合報告としての価値が高いと考えられるか？ ( A-B-C )
- (3) 結論は論理的に導かれ、明確に述べられているか？ ( A-B-C )
- (4) 論旨が理解しやすいか？ ( A-B-C )

### ・史料・資料

- (1) 史料・資料にオリジナリティがあるか？ ( A-B-C )
- (2) 史料・資料に学術的重要性・価値があるか？ ( A-B-C )
- (3) 史料・資料の入手方法等の情報が適切に記載されているか？ ( A-B-C )
- (4) 史料・資料の保管場所・アクセス方法など、今後の研究の便宜に資する情報が適切に記載されているか？ ( A-B-C )
- (5) 論旨が理解しやすいか？ ( A-B-C )

### ・技術報告

- (1) 観測システムや手法にオリジナリティがあるか？ ( A-B-C )
- (2) 観測システムや手法の地震学的重要性・意義が明確になっているか？ ( A-B-C )
- (3) 観測システムや手法が分かりやすく記載されているか？ ( A-B-C )
- (4) 関連する観測システムや手法のレビューが適切になされているか？ ( A-B-C )
- (5) 観測システムや手法の有効性・信頼性・再現性が示されているか？ ( A-B-C )
- (6) 論旨が理解しやすいか？ ( A-B-C )

### ・解説

- (1) 解説論文としての地震学的意義が明確になっているか？ ( A-B-C )
- (2) 関連する研究についてレビューが適切になされているか ( A-B-C )
- (3) 専門外でも理解できるよう可読性や教育的な配慮がなされているか？ ( A-B-C )
- (4) 論旨が理解しやすいか？ ( A-B-C )